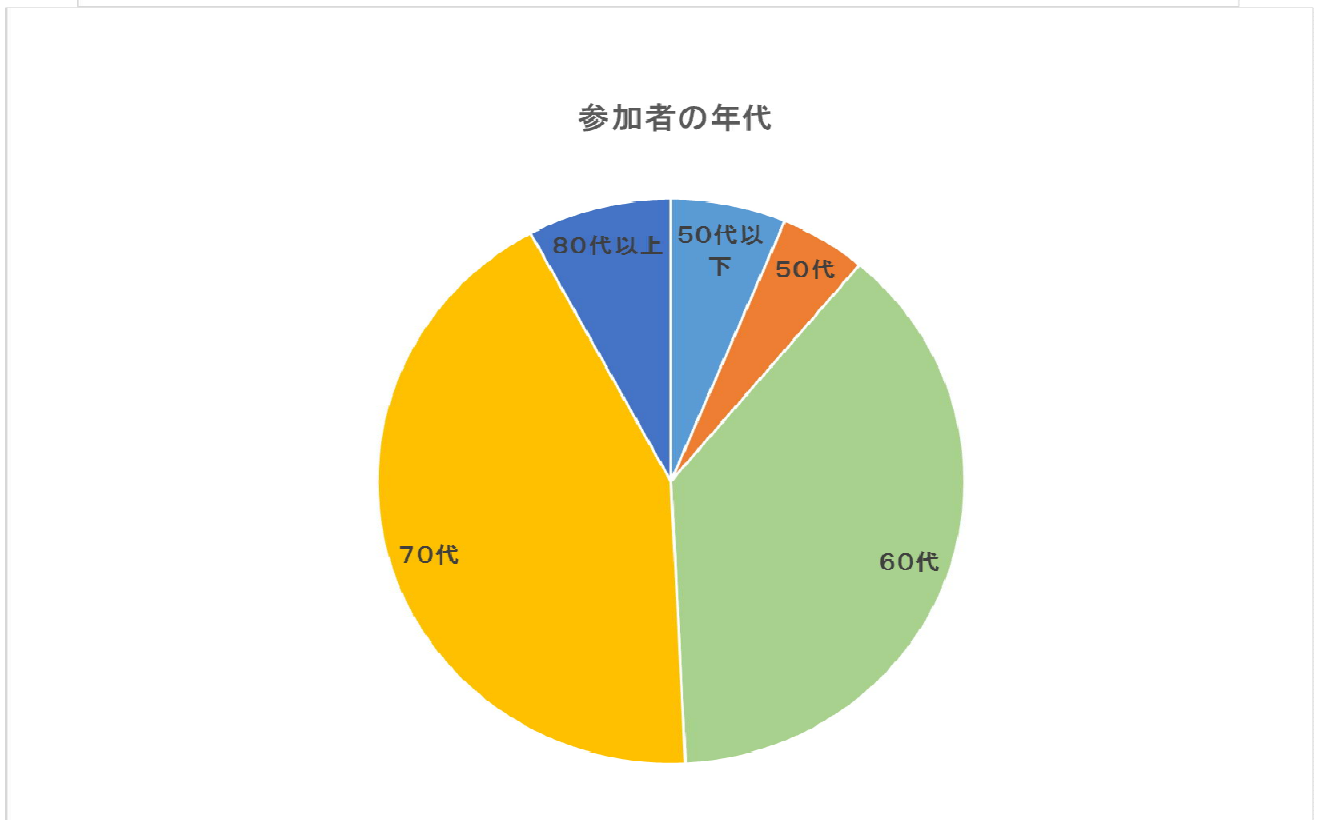
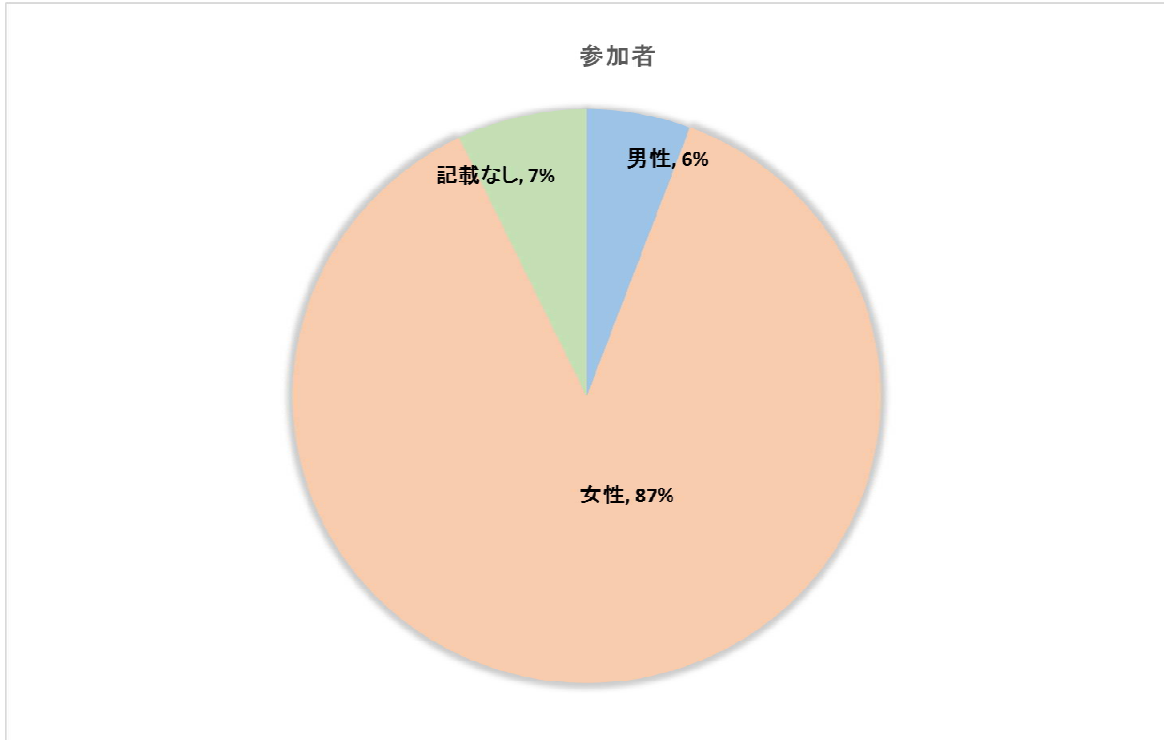


第5回高齢者まつり アンケート結果

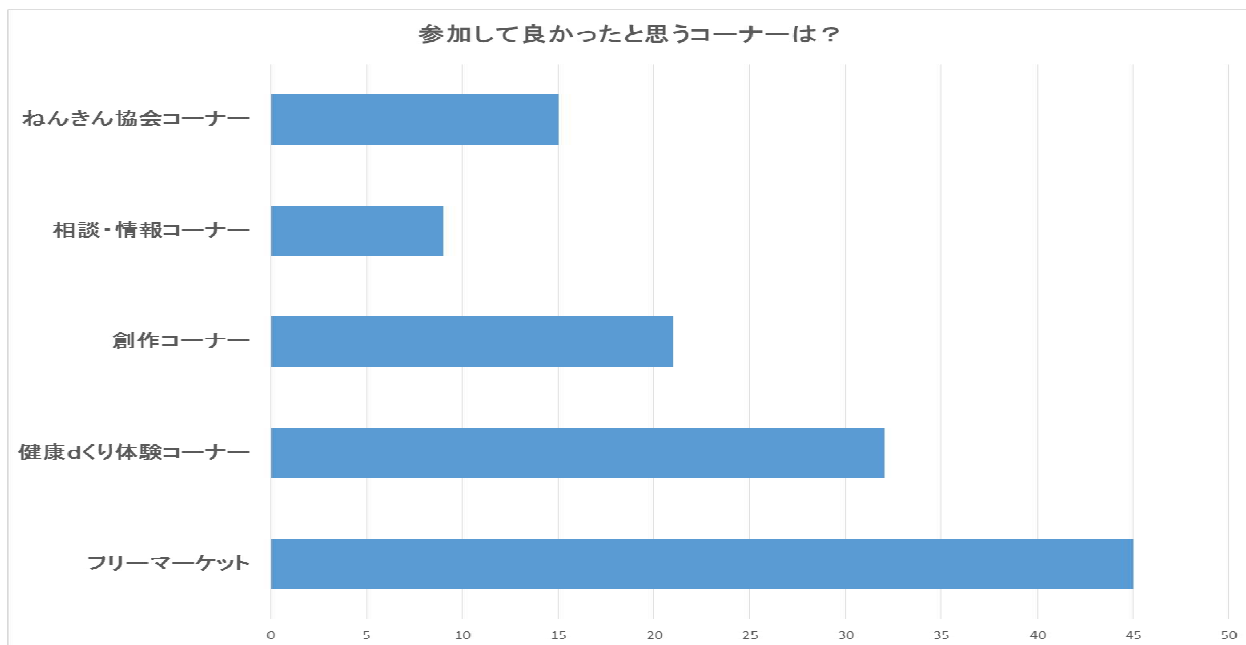
参加状況

参加者のほぼ9割は女性。 参加者の8割は60歳以上の高齢者。



1. 見学・参加されて良かったと思うコーナーは？

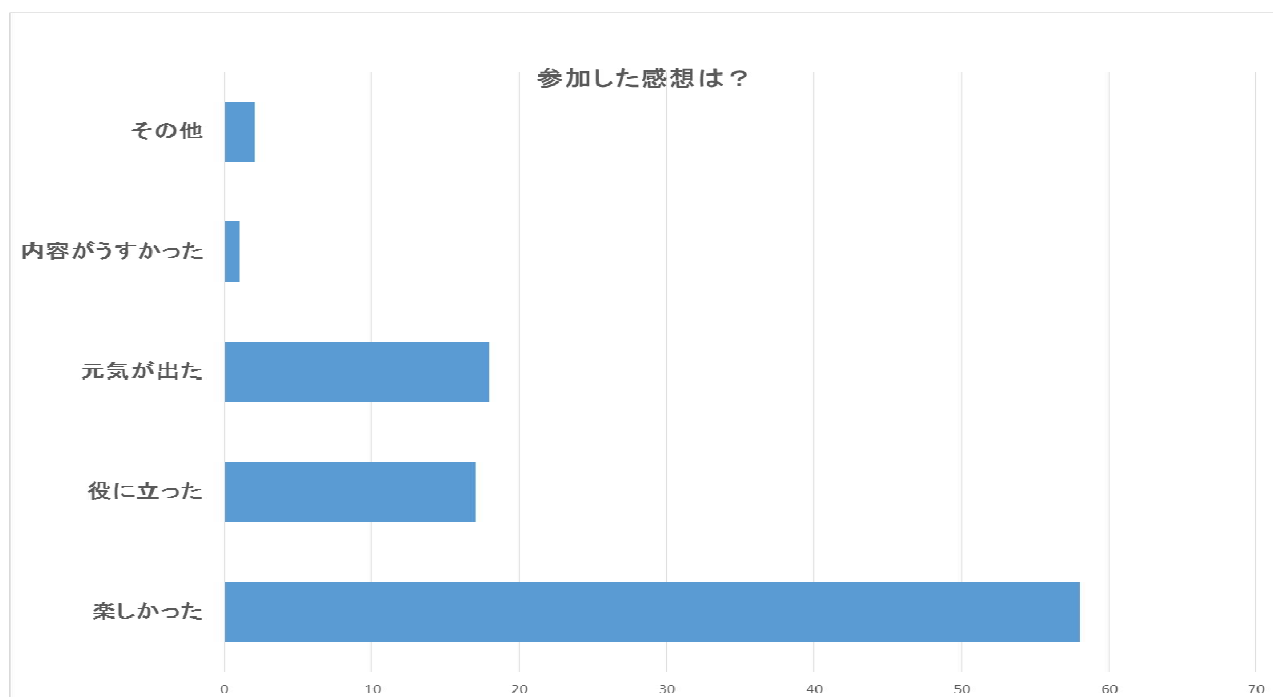
フリーマーケットがやっぱり人気！？



2. 全体としての感想は？

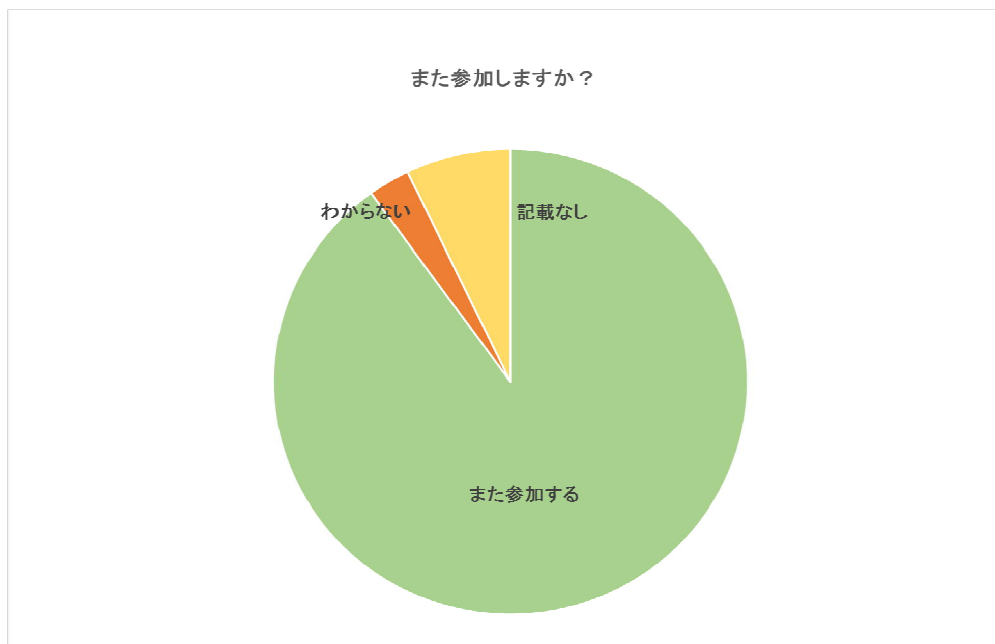
6割の人は楽しかったと回答しています。

元気がもらえ、楽しかったら、開催趣旨は満たされたと感じています。



3. また「高齢者まつり」があったら？

9割の人は「また参加する」と回答。明日が読めないという高齢者の心身の状況を考えると、「また参加する」空間・場の提供の必要性を痛感します。

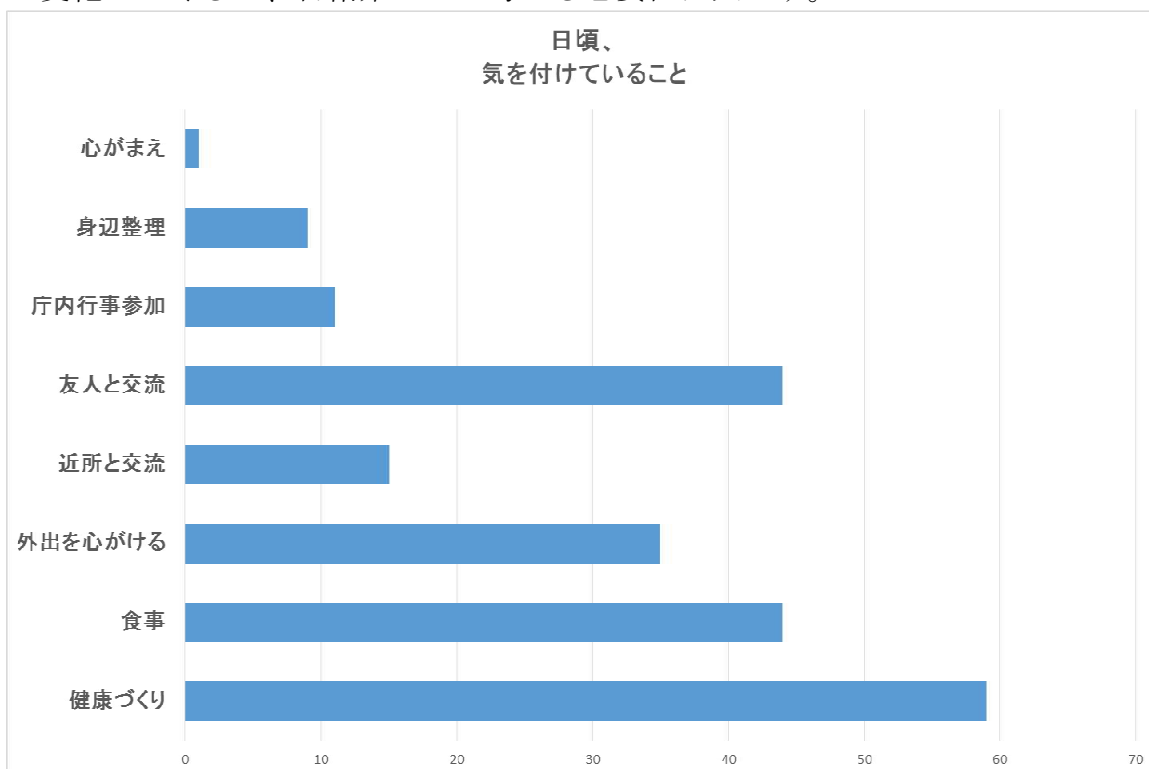


4. 今回参加されたのは？

3割は参加されたボランティア団体の方が占めましたが、知人に誘われたり、チラシを見た人や通りがかりの方も参加されていました。

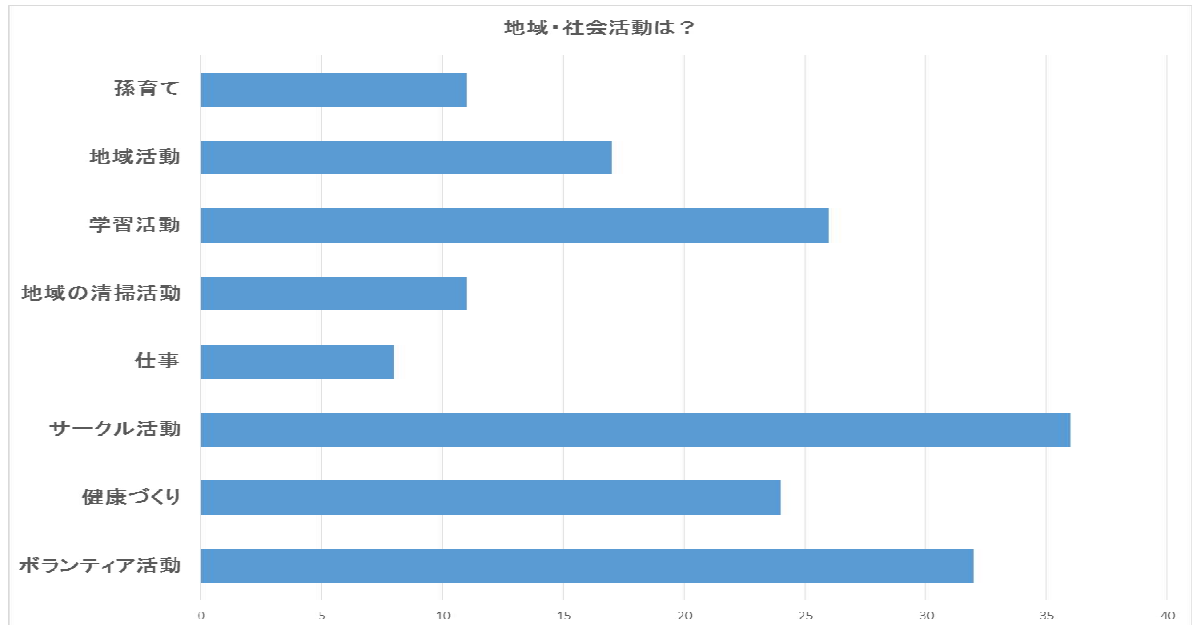
5. 高齢期に向けて、あなたはどのようなことに気を付けていますか？

今ほど自立型の高齢者像が期待される時代はありません。健康も、心のバランスも何もかもが「自己責任！？」のように。異論はありますが、これだけ地域や家族の関係が変化してくると、自衛策として考える必要性は大です。



6. 日頃、あなたはどのような地域活動や社会活動をしていますか

今時の高齢者は、10年前に比べ7歳は身体機能が若いと言われます。その源泉は、社会参加と自己啓発にあるのかもしれませんが。



7. 高齢者が安心して過ごすためにどんなことが必要だと思いますか？

人生90年どころか100年も夢ではなくなりました。とはいえ、人は一人では生きてはいけません。健康に安心して生きていくには、住みやすい、過ごしやすい地域空間や場所が必要です。

そしてそれはひとり1人の支え合いによって創って行くしかないこともまた真実です。私たち世代が、どのような支え合いの形を創出していくか、長寿時代を生きる親世代が社会次世代に贈る最も意味のある遺産かも知れません。

